

昇降式カップホルダー

菱田 裕^{*1}

Adjustable Cup Holder

Yu Hishida^{*1}

1. はじめに

近年のセンターコンソール動向として、コンソールアッパー面の上昇、アームレストが大型化しており、カップホルダー搭載位置がセンターパネルに近づく傾向にある。

それによりペットボトル等高さのある容器を収納した場合、センターパネルの操作を阻害する恐れがある（図-1、図-2）。

今回、センターパネルの操作を向上させることが出来る、昇降式カップホルダーを開発、量産化したのでその概要について紹介する。

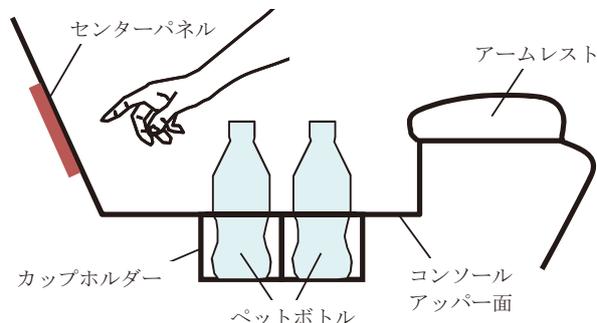


図-1 センターコンソール動向（従来）

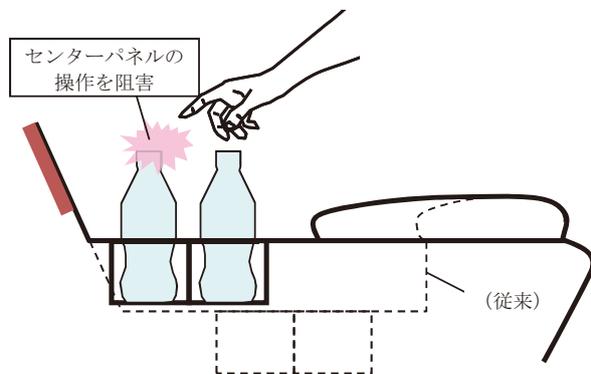


図-2 センターコンソール動向（近年）

2. 製品の概要

本製品は、高さを2段階で変えることが可能で、上昇時は高さが低い容器、高さの高い容器はトレイを押下げ収納、ボタン操作で戻ることができる構成となっている（図-3）。

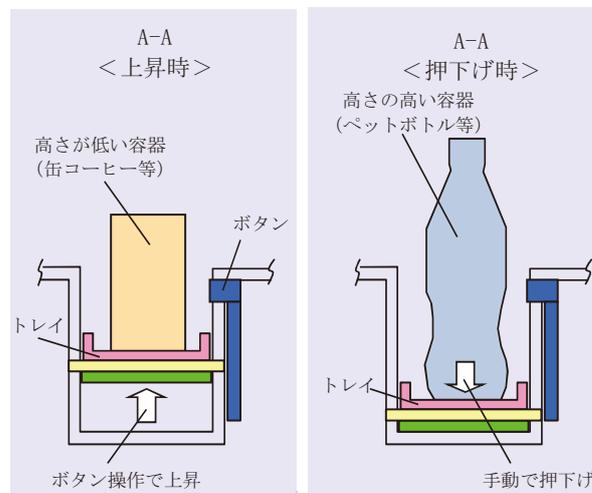


図-3 製品概要

*1 IE 技術部 機構品技術室

3. 開発の狙いとポイント

今回の開発品は、トレイへ取付けられた回転式ロック機構により上昇後の保持、押下げ後のロックを両立させ、ボタンと連結したロッドによってワンアクションでの上昇操作を可能とした。昇降構造を図-4、C視(ロック機構)を図-5に示す。

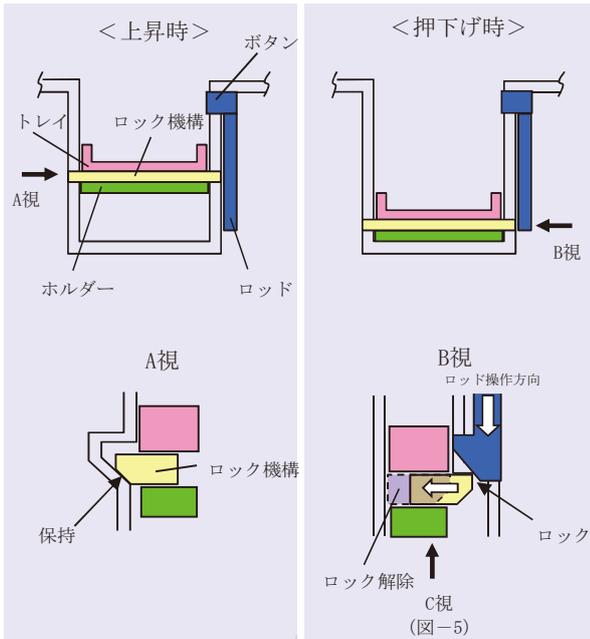


図-4 昇降構造

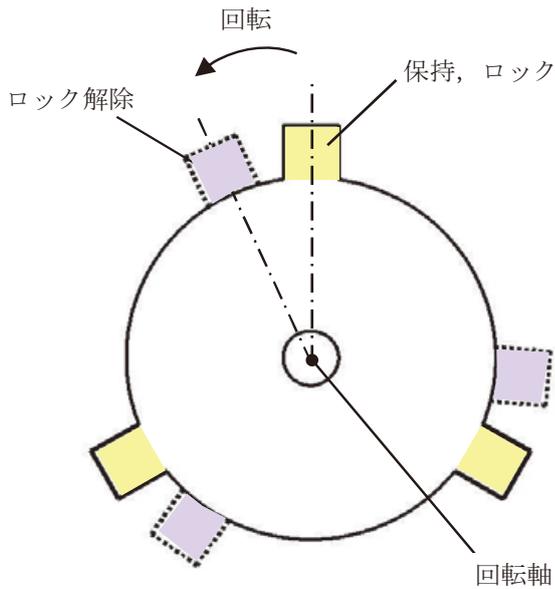


図-5 C視 ロック機構

4. おわりに

今回紹介したカップホルダーはレクサス RX に採用され量産化されることになりました。

最後に、この製品の開発・量産化に際し、ご支援・ご指導頂きましたトヨタ自動車株式会社 内装設計部、材料技術開発部、トヨタ自動車九州第2生産技術部並びに関係部署、関係会社の方々に厚くお礼を申し上げます。



著者



菱田 裕